

都市計画学会中国四国支部
2011 年度第4回
都市計画サロン



「広島の景色の印象」

残念ながら平成24年3月で広島工業大学の樋口忠彦教授が退職されます。平成19年京都大学からの着任以来、5年の短い間でしたが、広島の地でも景色の構造を紐解き、学生を育て、地域の魅力の発見方法を伝えてくれました。
支部では都市計画サロンという、自由な意見交換を行うメニューを持ち合わせており、この機会に「広島の景色の印象」について語っていただけることになりました。ご参加をお待ちしています。



景色を眺めながら、居心地よく過ごせるオープンカフェ（京橋川）



京橋川沿いの河岸緑地。背後に建物がある箇所では人の姿がひんぱんに見受けられる。



都市を回遊式庭園に見立てることで都市の魅力が蘇った、ボストンの都心。

京都も奈良も鎌倉も、「コの字型」の地形の中に都が造られた

コの字型空間は、身近にも、例えばカフェ。カフェでも、落ち着いた店とそうでない店があるでしょう？ 同じ店内でも、くつろげる席とそうでない席がありませんか？ こういう店の「落ち着いた理由」を調べてみると、やはり背後が守られ、前方が開けている、という特徴が見出せます。

都市計画を行う際には、このような「気持ちいい」「心が落ち着く」という視点も欠かしてはならないのではないのでしょうか。人が好まれる場所になれば、自然と人は集まってくるのですから。そうした視点を身につける第一歩は、「この風景は心地よい」という感性を養うことです。私は、まちづくりに関わりたいと志向する学生にこそ、理論を学ぶだけでなく、「心地よさ」を肌で感じてほしいと思います。

広島市中心部を流れる京橋川沿いの河岸緑地は長く続いています。細かく見ると、いつも人がにぎわっている箇所と、あまり人に利用されていない箇所があります。その差を調べてみると、・・・

広島の名勝縮景園は、眺めを楽しむ居心地よい場所が、園路沿いにたくみに配置されている、『回遊式庭園』。こうした回遊式庭園の発想をまちづくりに取り入れた例・・・

広島工業大学樋口研究室 HP より

このつづきは、会場で聞いてみましょう。（広島市役所 松田智仁）

話題提供者 **樋口 忠彦 氏**（広島工業大学工学部教授）

日時 **2012年3月16日（金）19:00～20:30**

場所 **広島市まちづくり市民交流プラザマルチメディアスタジオ**
袋町小学校敷地内 広島市中区袋町6番36号 TEL 082（545）3911

参加 **先着100人 どなたでも 無料**

主催 **都市計画学会中国四国支部**（企画・研究委員会）



■樋口忠彦氏 略歴

1944年埼玉県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学研究科博士課程修了。新潟大学工学部建設学科教授、京都大学大学院都市環境工学専攻景観計画学教授を経て、現在広島工業大学工学部都市デザイン工学科教授。都市計画学会石川賞、サントリー学芸賞、土木学会著作賞、建築学会賞（業績）などを受賞。著書に「景観の構造」「日本の景観」「郊外の風景」「都市のデザイン（共著）」など。行政委員会活動では、国土交通省中国運輸局地域ブランド評価委員会委員長などがある。